

道徳の授業

「ハンセン病について～人権尊重社会の実現のために～」

6月6日(火)の1時間目は、道徳の授業でした。授業のめあては、下記の通りです。この学習を通して、「人権を尊重する意識」や「正しい知識を身につけようとする態度」を身につけることにつながったことと思います。命の大切さについて気持ちをこめて最後のまとめをしてくださったことも、心に大きく響く授業でした。終わりの会で配布されたオレンジ色のリーフレット「ハンセン病の向こう側」も読み、参考にしてほしいと思います。

- めあて
- 1 「ハンセン病」とは何か知りましょう。
 - 2 そのことを巡り、実際にどんなことがあったのか、知りましょう。
 - 3 二度とこのような差別をうまないようにするために必要なことは何か考えましょう。



生徒のワークシートより

「二度とこのような差別をうまないようにするために必要なことは何か」

- 私は、どんなことでもちゃんと理解しようと思うことだと思います。なぜなら、このような差別がおこった原因が誤解だから。誤解がうまれるのはハンセン病のことについてみんなが理解しようとしていないからだだと思います。また、人の気持ちも分かるようではないから、長い間差別が続いたんだと思います。
- 私は、よく周りを見る(視野を広くする)ことだと思います。なぜなら、このような差別があるのは、自分のことしか考えていない、つまり、視野が狭いからだと思ったからです。よく周りを見て、苦しんでいる人、助けを求め人などをみんなであげてあげられたらこのような差別はなくなると思います。

保護者の皆様へ

先日の地区懇談会や自由参観日等も含め、いつも大変お世話になっております。

明日は、いよいよ民泊体験発表会です。参考までに発表予定順をお伝え致します。あくまで予定ですので、ご了承ください。もちろん、明日も、どの時間帯でも何時間でもご自由に授業参観できますので、お忙しいと存じますがぜひご参加くださいますようお願いいたします。

●民泊体験発表会（2年；音楽室）6月8日（木）13：25～

発表会の途中で、評価表を記入する時間があります。

最後に山元先生作成のスライドショーを上映予定です。